

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の業務の状況について

1 令和8年度事業の概要

令和8年度水道用水供給事業会計予算が、去る2月27日開催の当組合議会2月定例会において可決されましたのでお知らせします。

(1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給6市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、一日最大給水量21,310m³、年間総給水量7,778,150m³を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を行いながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入として供給6市町村からの用水料金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出としては当組合芝原浄水場の運転・維持管理や設備の保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息及び職員給与費などを計上しています。これら支出項目ごとに適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は1,065,759千円、収益的支出は960,492千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入544,600千円（企業債）、資本的支出842,766千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額298,166千円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転・維持管理のほか、年次計画に基づく設備の保守点検や修繕、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事としては、脱水機及び排水処理施設設備修繕、フロキュレーター用減速機及びろ過池制御盤修繕、自家発電設備修繕、浄水池及び濃縮槽照明設備修繕、薬品注入ポンプ修繕などを年次計画に基づき実施します。

また、建設改良として、芝原浄水場無停電電源設備更新工事（2か年計画2年目）及び芝原浄水場受変電設備更新工事（2か年計画1年目）、鶴子山増圧ポンプ場送水ポンプ更新工事を実施します。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比 較 増(△) 減	備 考
収益	営業収益	726,054	726,054	0	
	営業外収益	323,215	304,009	19,206	
	特別利益	16,490	48,265	△ 31,775	
	計	1,065,759	1,078,328	△ 12,569	
費用	営業費用	914,787	863,230	51,557	
	営業外費用	40,704	75,327	△ 34,623	
	特別損失	1	1	0	
	予備費	5,000	5,000	0	
	計	960,492	943,558	16,934	

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比 較 増(△) 減	備 考
資本的 収入	企業債	544,600	118,800	425,800	
	計	544,600	118,800	425,800	
資本的 支出	建設改良費	551,522	123,750	427,772	
	企業債償還金	291,244	270,033	21,211	
	計	842,766	393,783	448,983	

※資本的収入額が支出額に対し不足する額298,166千円は、過年度分損益勘定留保資金など298,166千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	12,851,035	3. 固定負債	2,974,835
(1) 有形固定資産	8,073,277	(1) 企業債	2,924,835
(2) 無形固定資産	4,777,758	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	1,005,937	4. 流動負債	306,716
(1) 現金預金	940,305	(1) 企業債	292,664
(2) 未収金	44,101	(2) 未払金	9,412
(3) 貯蔵品	21,531	(3) 引当金	4,640
		5. 繰延収益	7,456,835
		(1) 長期前受金	16,369,678
		(2) 収益化累計額	△ 8,912,843
		6. 資本金	2,697,677
		7. 剰余金	420,909
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	365,256
資産合計	13,856,972	負債資本合計	13,856,972

2 令和7年度事業の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 事業の概要

令和8年3月31日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額1,078,328千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入などによる1,079,242千円の収入で収入率は100.08%となり、収益的支出の予算額963,909千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費及び減価償却費などによる932,968千円の支出で執行率は96.79%となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額14,100千円に対し、企業債による14,100千円の収入で収入率100.00%となり、資本的支出の予算額291,032千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金に291,031千円の支出で執行率100.00%となりました。

水道水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が7,515,456^m³となり、有収水量は7,422,606^m³、有収率は98.76%となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

令和7年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転・維持管理のほか、年次計画に基づく設備の保守点検や修繕、原水や浄水の水質検査などを行いました。修繕工事としては、脱水機及び排水処理施設設備修繕、沈澱池汚泥掻寄機及びフロキュレーター用軸受修繕、ろ過池洗浄設備修繕、排水・排泥池照明設備修繕、薬品注入ポンプ修繕などを年次計画に基づき実施しました。また、建設改良として、芝原浄水場無停電電源設備更新工事（2か年計画1年目）及び梅ヶ沢増圧ポンプ場送水ポンプ更新工事を実施しました。

令和7年度におきましては、水道水の放射性物質モニタリング検査を月1回実施しましたが、いずれも水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、浄水場内の原水（浄水場入口水）及び浄水（浄水場出口水）のモニタリング検査を週1回、堀川ダムへの流入水（堀川）のモニタリング検査を月1回の頻度で実施しましたが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

令和7年度予算執行状況（R8.3.31現在）

イ 収益的収支

（単位：千円）

区 分		令和7年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
収益的 収支	収益	営業収益	726,054	0	726,054	363,027	363,028	726,055	△ 1	100.00	
		営業外収益	304,009	0	304,009	160	304,709	304,869	△ 860	100.28	
		特別利益	48,265	0	48,265	48,263	55	48,318	△ 53	100.11	
		計	1,078,328	0	1,078,328	411,450	667,792	1,079,242	△ 914	100.08	
	費用	営業費用	863,230	8,882	0	872,112	101,987	744,559	846,546	25,566	97.07
		営業外費用	75,327	11,469	0	86,796	22,812	63,610	86,422	374	99.57
		特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	5,000	0.00
		計	943,558	20,351	0	963,909	124,799	808,169	932,968	30,941	96.79

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和7年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)
資本的 収支	収入	企業債	△ 104,700	14,100	0	14,100	14,100	0	100.00
		計	△ 104,700	14,100	0	14,100	14,100	0	100.00
	支出	建設改良費	△ 102,751	20,999	0	20,999	20,999	0	100.00
		企業債償還金	0	270,033	134,286	135,746	270,032	1	100.00
		計	△ 102,751	291,032	134,286	156,745	291,031	1	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額276,931千円は、過年度分損益勘定留保資金18,204千円、減債積立金180,052千円及び過年度分消費税及び地方消費税額資本的収支調整76,766千円、当年度分消費税及び地方消費税額資本的収支調整1,909千円で補てんした。

(3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営業収益	330,025	330,025	660,050
営業費用	349,680	475,551	825,231
営業利益	△ 19,655	△ 145,526	△ 165,181
営業外収益	150,443	154,423	304,866
営業外費用	22,812	22,305	45,117
経常利益	107,976	△ 13,408	94,568
特別利益	48,263	55	48,318
特別損失	0	0	0
当年度純利益	156,239	△ 13,353	142,886
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	180,052	180,052
当年度未処分利益剰余金	156,239	166,699	322,938

※年度末に一括して予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分として推定される額を計上。

(4) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	12,865,127	3. 固定負債	2,722,900
(1) 有形固定資産	7,939,926	(1) 企業債	2,672,900
(2) 無形固定資産	4,925,201	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	1,066,421	4. 流動負債	351,040
(1) 現金預金	1,043,981	(1) 企業債	291,243
(2) 未収金	567	(2) 未払金	54,402
(3) 貯蔵品	21,873	(3) 引当金	5,219
		(4) その他流動負債	176
		5. 繰延収益	7,762,074
		(1) 長期前受金	16,463,208
		(2) 収益化累計額	△ 8,701,134
		6. 資本金	2,697,678
		7. 剰余金	397,856
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	342,203
資産合計	13,931,548	負債資本合計	13,931,548

(5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和7年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企業債	3,220,076	14,100	270,033	2,964,143